

## 第88回番組審議委員会議事録

日時：令和2年11月18日（水）13時30分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数10名
2. 出席委員数6名
3. 出席委員の氏名  
遠藤芳幸 委員長  
土井一浩 副委員・稲葉美津江 副委員  
安藤滋 委員・土橋矢兼 委員・内藤佑樹 委員（順不動）
4. 放送事業者出席者名  
小沢教司 常務取締役・山本茂 統括部長 2名

遠藤番組審議委員長：ごあいさつ

皆様ご苦勞様です。今年に入り、新型コロナウイルスの影響で番組審議委員会も人数を減らして開催させて頂いておりましたが本日は会議場所を広く取り、10名以下で開催していきます。まだまだ心配が続きますが、皆さん是非、気を付けてお過ごしください。今日は忌憚のないご審議をよろしくお願い致します。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆様、本日もお忙しい中、天気が良く暑い中、ご出席いただきまして感謝申し上げます。前回、皆様に地球温暖化防止対策また、聴取率について番組表アンケートを頂きました。これは今年度、環境省から補助金をいただき、クールチョイスという地球温暖化防止対策に取り組むキャンペーンにラジオエフとして参加している為です。ご協力ありがとうございました。本日も番組審議委員会終了後、環境省からの受託事業「クールチョイス」についてのアンケートのご協力をお願い致します。本日も忌憚のないご意見をよろしくお願いたします。

### 前のご報告

山本：前回、第87回番組審議委員会で審議したGreen & Brownのご報告です。

非常にお褒めの言葉を頂いた事で番組ディレクターの小松も喜んでおります。

和久田委員から頂いた富士市新環境クリーンセンター内にできた新しい

ビオトープの情報も共有し、各番組で取り上げていると思います。

前回の詳細は、ラジオエフWebサイトに掲載してありますので、ご参照ください。

## 番組審議

- ・テーマ Link (リンク)
- ・放送日時 2020年10月26日(月)  
(毎週月曜日 11:30~15:30 OA 生放送)
- ・出演 ラジオエフナビゲーター：白鳥志奈  
ゲスト：イデキョウホーム(株)井出克広様
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回の審議番組は毎週月曜日の午前11時30分から午後3時半まで放送している Link (リンク) という番組です。出演はラジオエフナビゲーターの白鳥志奈さん。番組説明ですが、開局10周年の番組改編時に始まった番組で、約5年間放送しています。SNSが話題になり始めた頃、人と人とのつながりの形を改めて再認識する。そんな時期に作られました。人と人とのつながりの新しい時代に入った所で、何か新しい番組はできないかと企画されました。このコンセプトを、番組ディレクターの鳥羽に投げかけ、彼なりに咀嚼してつくられた番組になります。

今日お聴き頂くのは先月10月26日に放送された回で、リンクという番組の中でも新たに始まった「SDG's 未来都市 富士市」という新コーナーで、富士市がSDG's 未来都市になったことを受け、9月下旬からスタートしました。このコーナーは持続可能な未来づくりに貢献する富士市内の事業所を紹介しています。10/26放送分ゲストはイデキョウホームの井出克広社長。「家づくり」を通じた持続可能な未来づくりをご紹介して頂きました。これまでのゲストとして、丸富製紙さんやコーチョーさんにもご出演いただいております。SDG'sは昨今、色々な所で話題となっていますが、このSDG'sをテーマとしたコーナーです。それではお聴きください。

## 約10分後

山本：途中ですが以上になります。遠藤委員長ご審議の程、よろしくお願い致します。

遠藤：今、イデキョウホームさんの社長さんのお話を聴いて、コーナー全体の流れや雰囲気は、安藤さんいかがでしょうか。

安藤：井出社長のお話は上手で、何のストレスもなく聴けました。イデキョウホームさん自体のPRもすごくされていたので今後、家を建てる人の参考になったと思います。先日、富士市議会議員さんとお話する機会があり今、富士市の問題の一つに空き家率が約25%あるという中で、SDG's 未来都市に認定されたという所で、未来都市だからこそ、多くの空き家の問題をうまくリンクしてイデキョウホームをはじめ、多くの地元企業が協力して行けばまた、他市町村からの人口流入も増え、富士市が活性化するのではないかと思います。

遠藤：ありがとうございます。今、富士市の空き家率は25%もあるんですね。  
住宅会社のリフォームなどにもつながりそうなので是非、知っていただきたい。

安藤：裾野市は2月23日 富士山の日からスマートシティづくりを推進していくそうです。  
こういう取り組みにも連携できると良いと思います。

土橋：SDG'sは市民の皆さんにどれだけ浸透しているかわからないが、簡単な説明に加えSDG'sのホームページなどに誘導してもらえると、もっと分かりやすいと思う。  
お話の中で、SDG'sについての目標が6つご説明ありましたが、詰込みすぎるよりその中でも重要な物に特化すると伝わりやすいのではないかと個人的に感じた。  
沢山の取り組みをされる中で、イデキョウホームさんの頑張りがよく伝わった。

遠藤：どうもありがとうございます。

土橋：例えば「SDG'sの詳細については、富士市のホームページをご覧ください。」の様な一言でフォローしたらもっと良いと思います。

内藤：ゲストの井出さんはお話が上手。ラジオはながら仕事をしながら聴く機会が個人的に多いので、難しい話だと正直内容があまり入ってこない。もう少し対話形式になっていると聞きやすいかもしれない。ラジオ番組としてどうしたいのかという部分なので、対話形式にするのが正解というわけではないが、お話のボリュームを減らし、会話のキャッチボールする感じの方が、色んな人が聴きやすい様な気がする。  
家を建てる事に興味のある方に対し、かなりセールストークに繋がっていると思う。

遠藤：山本さん、以前にご出演したゲストさんの丸富製紙さんやコーチャーさんの時も、同じような感じだったのでしょうか。

山本：内藤さんのおっしゃった事は的を射ています。会社PRでなく、こういったSDG'sについての取り組みでお話を伺う場合、ゲストさんからの意向がより強く反映されると思います。私も一制作者の立場からすると、1から6ある目標の中から1つを噛み砕き掘り下げて説明した方が説得力があり、より多くの人に伝わると思います。  
一方ゲストさん側、PRする方の立場からすれば、すべての目標をPRしたいと思うのは当然の事だと思います。この辺のせめぎあいが難しい所。すべてを事細かく説明する事は時間に限りがある為、細切れになってしまう事で、どうしても薄く伝わりづらくなる。ゲストさんの意向や番組の意向、内容の質という部分で、毎回違う流れになると思われます。こういう番組構成ですとは一概に言えません。

土橋：ゲストさんの意向をその都度、反映させるという事ですね。

山本：そういう事です。おそらく今回はすべてをご紹介したかったという事です。  
時間が30分あれば伝わるかもしれませんが、10分程で伝えるのは難しい所です。

内藤：ラジオエフには商店街の放送枠がありますので何度か出演させて頂いて、CDなどの同録をもらい後から聴き直しますが、自分が今日は良く喋ったなというとき程、伝わっていない感じがする。今まで、ディレクターさんからこう話してくださいという指示はありませんので結局、ゲストがどうしたいかという所ではないのでしょうか。

番組を分かりやすくするには、いくつか質問をしてみると良いのでは。

山本：これは、ラジオ番組の根本に関わる所。一人喋りでじっくりとお伝えするのが良いのか、会話形式でのやり取りが良いのかは番組出演者のキャラクターや放送内容、番組の色で変わってくる所なので、どちらが良いとは言い切れません。各番組ディレクターの意向もあると思われませんが、この辺は見極めなければなりません。

遠藤：ありがとうございました。

土井：井出さんが大変丁寧に分かりやすくご説明されている事は伝わりました。

最初に、家づくりをやっていますよ。エコハウスで木造ですよ。

地元産の富士ひのきを使っていますよ。という部分は非常に良く伝わりましたが時々、専門用語「ゼッチ」という言葉が入り難い。SDG's と結びつける事で難しくなってしまう部分があるのでナビゲーターに噛み砕いていただきたい。真剣に聞いていても難しい部分は理解しにくいので、ながら仕事では耳に入らないかもしれない。冒頭部分はとても良く分かりやすく説明されていると思います。

遠藤：ナビゲーターの白鳥さんに分かりにくい部分を質問して頂くと良いかもしれません。

稲葉：ゲストさんに、「こう言ってください」というのではなく予め、ディレクターさんが「ラジオだとこんな風に聞こえるので難しい言葉は噛み砕いてください」と一言、伝えても良いと思います。「短い時間で沢山の事をお話すると伝わりにくいですよ」というアドバイスは良い。一生懸命聴きましたが、途中から流れてわかりづらい部分があった。ナビゲーターさんが、もう少し合いの手を入れたり「全てをお話する事で伝わりにくくなりますよ」「ラジオはそういう物ですよ」と教えてあげると良い。

小沢：ラジオを聞いている人の立場からの番組づくりという事ですね。

遠藤：お話が上手いので伝わらない部分があるのもったいない。

稲葉：仕事内容を伝えたい気持ちはすごく伝わった。

内藤：本当はもっとお話ししたかった様に感じます。

稲葉：言葉が難しいと聞く側がいっぱいになり、入ってこない部分がある。

土橋：9月下旬からとまだ始まって間もないコーナーなので、これから「SDG's 未来都市 富士市」をどの様に伝えていくか、試行錯誤していけば良いのではないのでしょうか。ゲストとなる事業所選定はどの様にされていますか？

山本：詳細は確認していませんが、富士市と営業部との間で打合せがあるのではないかと思います。

土橋：富士市さん発信という事ですね。

遠藤：富士宮市の SDG's は取り上げないのですか？

土橋：未来都市になっていないと思います。

稲葉：SDG's の取組み自体は行っていますが、未来都市宣言はしていないと思われま

土橋：富士宮市のどの企業でも SDG's に取組まれている企業は多いと思います。

遠藤：小沢常務は SDG's のバッジをいつも付けられていますね。

小沢：頼まれて付け始めましたが、中には売って欲しいという方もいらっしゃいました。  
富士市のバッジは富士ひのきで作られています。

遠藤：事業家の皆さんはよく SDG's のバッジを身に付けていらっしゃいます。  
一周しましたがご意見いかがでしょうか。

安藤：このコーナーも始まったばかりですし、内藤さんのおっしゃる通り、これから少しずつ話し方を工夫して変えて行けば、富士市 SDG's 未来都市の理想に近づけるのではないのでしょうか。そのきっかけの 1 つがラジオエフのこのコーナーとなれば良いと思います。面白い富士市になっていく事に期待します。恥ずかしながら、今日 SDG's という物を知る事ができました。これから先、自分の訪問先で営業トークの 1 つになると思う。知る事で少しずつ意識も変わっていくと思います。

遠藤：富士市が未来都市を目指す中で、ゲストさんの未来に対する夢を話しても面白い。  
そうすれば、このコーナーに興味を持って聞いてもらえるのではないのでしょうか。

山本：ありがとうございます。

土橋：SDG's は詳しく説明すればするほど難しくなる所があるので、「SDG's の 17 の目標の内、今回はこの目標について取組まれている事業所をご紹介します」という様に特化すると分かりやすい。今回のイデキョウホームさんであれば、「すべての人に福祉と健康をという目標についてお話し頂きます。」といくつかある目標の内、特化した部分だけを出す方が分かりやすい。17 の目標があれば 17 パターン作れるのでは？

山本：その方が分かりやすい。

土橋：17 全て出されても、覚えられない部分がある。ゴール地点があると理解しやすい。

内藤：1 つの事を深掘した方が構成上、自然と話がまとまりやすい。

稲葉：言いたい事がたくさんあると、何を伝えたいのかわからなくなる。

企業として、様々な取組みをされていてご紹介したいのはわかりませんが、また違う日にご招待してもよいのでは。

土井：今回、富士山エコ断熱という言葉が耳に残り、北海道レベルとお話ししていた事からこういう所に焦点を当てても良い。

稲葉：新聞紙からセルロースナノファイバーの断熱材が作れるのは改めてすごいと思いました。自分が理解すれば自然と聴く耳をもつのではないのでしょうか。1 つのテーマを掘り下げる方が、聴きやすく、事業所の PR にもつながる様な気がします。

小沢：お時間となりましたので、今日はこの辺で。

遠藤：皆さん、今日もありがとうございました。

最後に

小沢：今期は新型コロナの影響もあり今日で3回目の番組審議委員会ですが、  
総務省の決まりでは年6回開催という事から来月も引き続き開催したいと思います。  
次回の番組審議委員会は、来月12月23日（水）13：30からです。  
お仕事の方はそちらを優先願います。  
年末でお忙しい中、大変申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。  
山本：以上、本日は、どうもありがとうございました。